



## 2021年2月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

2020年7月8日

上場会社名 株式会社アーコア 上場取引所 名  
 コード番号 3384 URL https://arkcore.co.jp  
 代表者（役職名） 代表取締役社長（氏名） 正渡 康弘  
 問合せ先責任者（役職名） 取締役管理本部長（氏名） 土屋 勉（TEL）03(5837)3611  
 四半期報告書提出予定日 2020年7月15日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

（百万円未満切捨て）

## 1. 2021年2月期第1四半期の業績（2020年3月1日～2020年5月31日）

（1）経営成績（累計）（%表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年2月期第1四半期	567	—	△63	—	△59	—	△61	—
2020年2月期第1四半期	—	—	—	—	—	—	—	—

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年2月期第1四半期	△34.63	—
2020年2月期第1四半期	—	—

（注）当社は、2020年2月期第1四半期は連結財務諸表を作成していたため、2020年2月第1四半期の各項目は記載しておりません。

## （2）財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年2月期第1四半期	1,086	264	24.2
2020年2月期	1,168	325	27.8

（参考）自己資本 2021年2月期第1四半期 263百万円 2020年2月期 324百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年2月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2021年2月期	—	—	—	—	—
2021年2月期（予想）	—	0.00	—	0.00	0.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 2021年2月期の業績予想（2020年3月1日～2021年2月28日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	2,855	25.6	103	50.8	96	58.0	67	669.4	37.82

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無  
四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用に関する注記

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

会計方針の変更に関する注記

(3) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数（四半期累計）

2021年2月期1Q	1,970,000株	2020年2月期	1,970,000株
2021年2月期1Q	193,667株	2020年2月期	193,667株
2021年2月期1Q	1,776,333株	2020年2月期1Q	1,776,333株

発行済株式数に関する注記

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束するものではありません。実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期貸借対照表 .....	4
(2) 四半期損益計算書 .....	5
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書 .....	6
(4) 四半期財務諸表に関する注記事項 .....	7
(継続企業の前提に関する注記) .....	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	7
(セグメント情報) .....	7
(追加情報) .....	7
(重要な後発事象) .....	7

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

当社は、前年度第1四半期は四半期連結財務諸表を作成していましたが、四半期財務諸表を作成していませんでしたので、前年同期との対比は記載していません。

文中の将来に関する事項は、当四半期会計期間の末日現在において当社が判断したものであります。

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期累計期間におけるわが国経済は、2020年1月—3月期の四半期別GDP実質成長率が2四半期連続でマイナスとなりました。新型コロナウイルス感染症により、企業収益は急速に悪化しており、雇用情勢は有効求人倍率が大きく減少し、個人消費は実質消費支出額が減少しております。

当社の事業セグメントは、バイク事業、フィットネス事業となっております。当第1四半期累計期間におけるセグメント別の業績は次のとおりであります。

#### (バイク事業)

バイクの買取台数は2,704台(前年同期比2.7%減)、販売台数は2,395台(同3.5%減)となりました。また、業者間オークションの相場は、3月、4月は低調であったものの、5月には回復基調となったことから、売却単価は前年同期比1.5%増、粗利単価は同4.9%減となりました。また、販売費及び一般管理費は、買取りに係る広告費は前年同期比10.2%増、人件費は同4.3%増となりましたが、その他の費目は金額的には横這いで推移しました。

バイク事業の当第1四半期累計期間の業績は、売上高510百万円、セグメント損失24百万円となりました。

#### (フィットネス事業)

当社は、2020年1月に子会社を吸収合併したことにより、エニタイムフィットネスFC5店舗、ステップゴルフFC2店舗を運営しておりますが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のために東京都などからの休業要請を全店舗で受け入れて、4月中旬から5月末日までの期間を休業いたしました。その結果、当事業の売上高は、前年同期に子会社で計上した売上高と比較して大幅に減少しております。

フィットネス事業の当第1四半期累計期間の業績は、売上高56百万円、セグメント損失39百万円となりました。

以上の結果、当第1四半期累計期間の経営成績は売上高567百万円、営業損失63百万円、経常損失59百万円、四半期純損失61百万円となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

#### ① 財政状態の状況

##### (資産)

当第1四半期会計期間末において総資産は1,086百万円となり、前事業年度末と比較して82百万円減少しました。主な要因としては、金融機関からの長期借入金の返済等で現金及び預金が66百万円減少し、商品が42百万円増加したことによるものであります。

##### (負債)

当第1四半期会計期間末において負債は821百万円となり、前事業年度末と比較して20百万円減少しました。主な要因としては、1年内返済予定の長期借入金を含む長期借入金が38百万円減少したことによるものであります。

##### (純資産)

当第1四半期会計期間末において純資産は264百万円となり、前事業年度末と比較して61百万円減少しております。これは、四半期純損失61百万円を計上したことによるものであります。

② キャッシュ・フローの状況

当第1四半期累計期間末の現金及び現金同等物は478百万円となっております。当第1四半期累計期間における各キャッシュ・フローの状況は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果、支出した資金は14百万円となりました。主な要因としては、支出した資金としては、税引前四半期純損失59百万円の計上及びたな卸資産の増加額42百万円によるものであり、得られた資金としては、売上債権の減少による増加額44百万円、その他の流動負債の増加による増加額36百万円によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第1四半期累計期間において、特筆すべき重要な支出及び収入はありません。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果、支出した資金は52百万円となりました。主な要因としては、支出した資金としては長期借入金の返済による支出58百万円、短期借入金の返済による支出12百万円によるものであり、得られた資金としては長期借入れによる収入20百万円によるものであります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

2020年4月13日に公表いたしました業績予想数値からの変更はありません。

## 2. 四半期財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2020年2月29日)	当第1四半期会計期間 (2020年5月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	550,322	483,487
売掛金	68,469	24,109
商品	191,863	234,512
貯蔵品	2,506	2,506
前払費用	37,121	35,930
その他	6,668	6,264
流動資産合計	856,952	786,809
固定資産		
有形固定資産	152,698	148,653
無形固定資産	11,636	10,475
投資その他の資産	147,010	140,214
固定資産合計	311,346	299,344
資産合計	1,168,299	1,086,154
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	9,528	5,418
短期借入金	24,998	12,497
1年内償還予定の社債	40,000	40,000
1年内返済予定の長期借入金	229,180	217,202
未払法人税等	15,385	17,832
賞与引当金	10,091	2,546
その他	84,305	121,784
流動負債合計	413,488	417,280
固定負債		
社債	140,000	140,000
長期借入金	274,167	247,400
その他	14,938	17,280
固定負債合計	429,105	404,680
負債合計	842,593	821,961
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	232,825	232,825
資本剰余金	266,598	266,598
利益剰余金	△100,858	△162,371
自己株式	△73,858	△73,858
株主資本合計	324,706	263,193
新株予約権	1,000	1,000
純資産合計	325,706	264,193
負債純資産合計	1,168,299	1,086,154

## (2) 四半期損益計算書

第1四半期累計期間

(単位:千円)

	当第1四半期累計期間 (自2020年3月1日 至2020年5月31日)
売上高	567,201
売上原価	310,770
売上総利益	256,430
販売費及び一般管理費	320,008
営業損失(△)	△63,577
営業外収益	
受取手数料	1,314
助成金収入	4,865
その他	389
営業外収益合計	6,569
営業外費用	
支払利息	1,989
社債利息	295
営業外費用合計	2,285
経常損失(△)	△59,293
税引前四半期純損失(△)	△59,293
法人税、住民税及び事業税	836
法人税等調整額	1,383
法人税等合計	2,219
四半期純損失(△)	△61,513

## (3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	当第1四半期累計期間 (自 2020年3月1日 至 2020年5月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>	
税引前四半期純損失(△)	△59,293
減価償却費	8,591
のれん償却額	622
株式報酬費用	4,394
賞与引当金の増減額(△は減少)	△7,545
受取利息	△7
支払利息	1,989
社債利息	295
売上債権の増減額(△は増加)	44,360
たな卸資産の増減額(△は増加)	△42,649
仕入債務の増減額(△は減少)	△4,109
その他の流動資産の増減額(△は増加)	1,428
その他の流動負債の増減額(△は減少)	36,888
その他	2,634
小計	△12,399
利息の受取額	30
利息の支払額	△2,139
法人税等の支払額	△0
営業活動によるキャッシュ・フロー	△14,509
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>	
定期預金の預入による支出	△450
有形固定資産の取得による支出	△133
差入保証金の差入による支出	△5
投資活動によるキャッシュ・フロー	△588
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>	
短期借入金の返済による支出	△12,501
長期借入れによる収入	20,000
長期借入金の返済による支出	△58,745
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△455
割賦債務の返済による支出	△486
財務活動によるキャッシュ・フロー	△52,187
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△67,285
現金及び現金同等物の期首残高	546,122
現金及び現金同等物の四半期末残高	478,836



## (4) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第1四半期累計期間(自 2020年3月1日 至 2020年5月31日)

## 1. 配当金支払額

該当事項はありません。

## 2. 基準日が当第1四半期累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第1四半期会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

当第1四半期累計期間(自 2020年3月1日 至 2020年5月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント		合計(注)
	バイク事業	フィットネス事業	
売上高	510,521	56,680	567,201
セグメント損失(△)	△24,365	△39,212	△63,577

(注)「セグメント損失(△)」は、四半期損益計算書の営業損失と一致しております。

(追加情報)

当第1四半期累計期間  
(自 2020年3月1日 至 2020年5月31日)

(新型コロナウイルス感染症の拡大に伴う会計上の見積りについて)

新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い、当社のフィットネス事業は東京都などからの休業要請を全店舗で受け入れて、休業いたしました。今後の当該感染症の拡がり方や収束時期の見通しによっては、当社の業績に大きな影響が及ぶことが想定されますが、当社における固定資産の減損及び繰延税金資産の回収可能性の判断等の会計上の見積りにあたっては、2020年6月の全店舗での営業再開後、2021年2月の事業年度末にかけて、当社業績は徐々に回復していくものと仮定して判断しております。

(重要な後発事象)

当社は、2020年6月26日開催の取締役会決議により、第3回無担保社債(私募債)を発行いたしました。その概要は次のとおりであります。

1. 発行総額: 150,000,000円
2. 社債の利率: 年0.35%(保証料他は除く)
3. 発行価額: 額面100円につき金100円
4. 償還金額: 額面100円につき金100円
5. 償還期限: 2025年6月30日
6. 償還方法: 半年毎定時償還
7. 払込期日(発行日): 2020年6月30日
8. 保証人: 株式会社埼玉りそな銀行
9. 財務代理人: 株式会社埼玉りそな銀行
10. 総額引受人: 株式会社埼玉りそな銀行
11. 振替機関: 株式会社証券保管振替機構
12. 資金の用途: 運転資金(主として商品在庫調達用資金に充当)